

R2.4.1 遊佐町防災ガイドマップ作成

- ・町内の月光川、庄内高瀬川、日向川の洪水浸水想定区域(想定最大区域)を反映させた洪水ハザードマップと、土砂災害、津波災害ハザードマップを一冊にまとめた「遊佐町防災ガイドマップ」を作成しました。
 - 4月に全戸配布と町HPへの掲載、以降も説明会、出前講座を行い周知に努めます。
- (実施機関:遊佐町)



遊佐町防災ガイドマップ 高齢者も見やすいようB4サイズで作成



本マップを使用して、防災・減災の取り組みを進めます

R2.4.10 (株)トヨタレンタリース山形との車両の貸与に関する協定締結

本町は庄内平野の中央に位置し、大規模洪水時には町内のほぼ全域で浸水が想定されています。

昨年度の台風災害などで被災した自治体からの報告では、庁用車の被災がその後の応急業務の支障となった事例が多かったことを踏まえ、スクールバス等で賃貸借契約の実績のある(株)トヨタレンタリース山形様に協力を願い、災害時において車両を提供していただく協定を締結しました。

(実施機関:三川町)



4月22日付け庄内日報で紹介していただきました。

R2.6.7 水防団による内水氾濫発生予想箇所の点検

本町では、毎年のように最上川水系藤島川の水位上昇により内水氾濫が発生し、都度、水防団が出動しています。

山形県では平成30年度より内水氾濫発生箇所2箇所の排水対策工事を実施しており、うち1箇所では6月に工事が完了しますが、残る1箇所の工事完成は令和3年度以降となることから、今年の出水期に備え水防団幹部による水防活動予定箇所の点検と、出動時の作業手順の確認を行いました。

(実施機関：三川町)



土口地内の二丁排水では、出動時におけるポンプ設置箇所、ホースラインなどの確認をしました。



押切新田地内の二丁堀排水では、新たに設置されたポンプ場の仕組みや、出動時の対応について確認しました。

R2.6.25 避難所運営ゲーム(HUG)の開催

- ・令和2年6月25日に、酒田市南遊佐コミュニティセンターにおいて、洪水の発生を想定した避難所運営ゲーム(HUG)を行い、地域住民約30名が訓練に参加した。
- ・地域住民7人から8人で1つのテーブルを作り、洪水発生時の避難所運営をシミュレーションした。また、酒田警察署の警察官にもゲームに参加・見学をしていただいた。
- ・避難所運営ゲームが初めての方も大半であり、次々と発生する難題に戸惑いながらも、全員が真剣に問題に取り組んでいた。避難所運営を体験することによって、災害への事前の備えの必要性を再確認した。

(実施機関:酒田市、酒田警察署、南遊佐コミュニティ振興会)

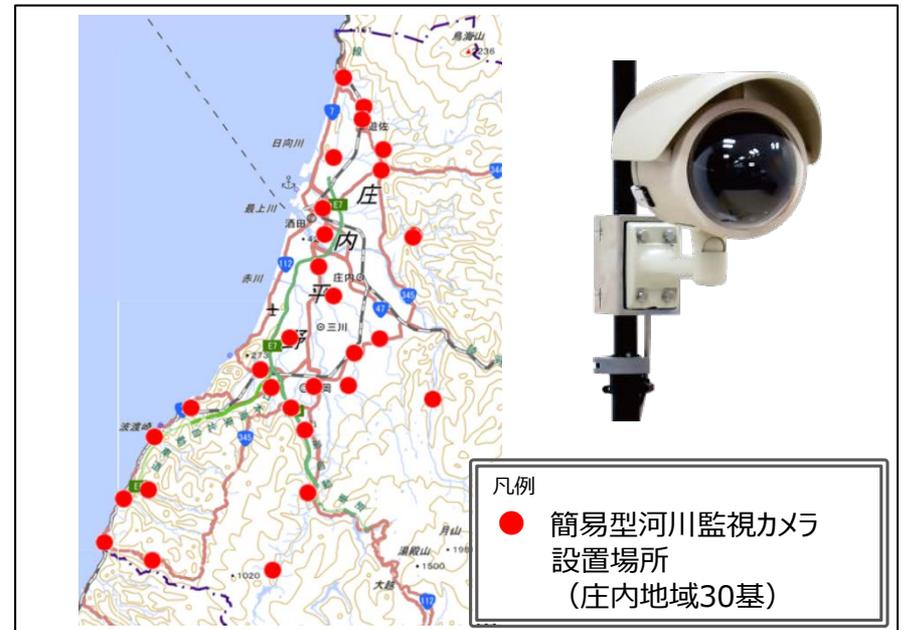


R2.4.1 県管理河川において簡易型監視カメラを運用開始

- 出水時にリアリティーのある洪水状況を画像として住民と共有し、適切な避難判断を促すため、新たに簡易型河川監視カメラ※91基を設置（庄内地域では23河川、30箇所を設置）
- 最新の画像を河川情報センターが運営する「川の防災情報」のホームページで公開開始（令和2年4月1日運用開始）

※ ズームや首振りなどの機能を排除して機能を限定することにより低コスト化を図ったもので、一定間隔で静止画像を撮影し、LTE回線で伝送するもの

(実施機関:山形県)



▲川の防災情報ホームページでの公開(令和2年4月1日～)

▲簡易型河川監視カメラ設置箇所 (庄内地域)

R2.6月 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた分散避難 に向けた避難所レイアウトの作成・町内会公民館の活用

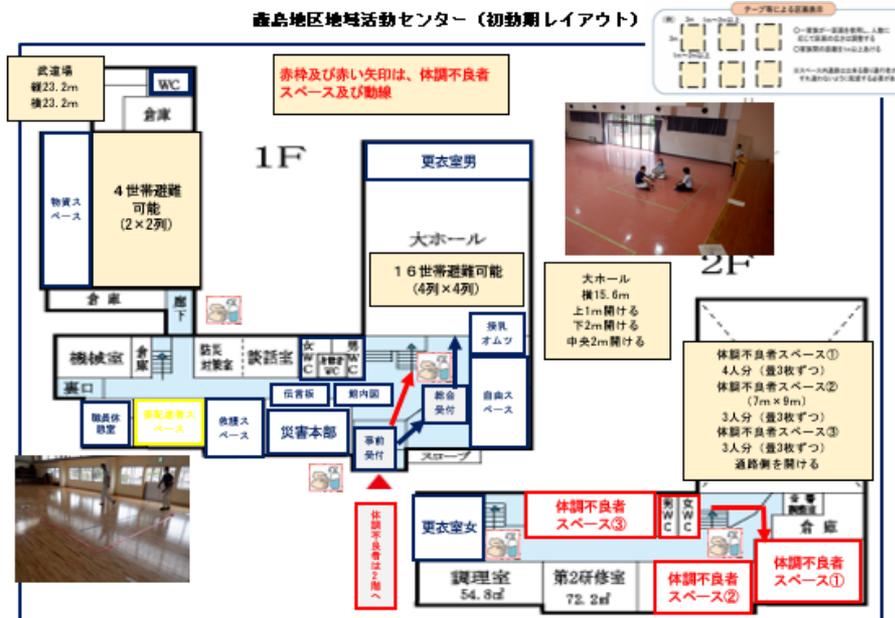
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所施設のレイアウト・避難行動タイムライン等について、過去に避難勧告等の発令事例のある藤島地域「三和」「東栄」「長沼」をモデルとし、市内全域の避難所レイアウトを作成しました。
- ・ 発災時の迅速な開設に向けて、本市と自治振興会等により協議をすすめ、各町内会公民館を分散避難所として開設する際の収容人数等の確認を行いました。

鶴岡地域説明会：21回 対象避難所：210箇所

(実施機関：鶴岡市)



▲避難所レイアウトに関する協議



▲避難所レイアウト

R2.7月 地域防災アドバイザーによる出前講座

- ・ 地域の防災力の向上を目的に、「鶴岡市地域防災アドバイザー登録制度」を令和2年7月からスタートしています。
- ・ 本制度は、本市ブラッシュアップ講習会受講者や防災士有資格者を中心としたアドバイザーが、「防災サポート出前講座」として派遣要請のあった各自主防災組織等で研修会や防災講話を行うものです。

＜活動内容＞ ・研修会、防災講話の実施 ・防災訓練等での協力

＜会員＞ 22名

＜R2実績＞ 14回(11月末)

(実施機関:鶴岡市)



▲防災サポート出前講座



▲防災サポート出前講座

R2.7.11 マイ・タイムライン作成講習会の開催

- ・令和2年7月11日に、酒田市港南コミュニティセンターにおいて、最上川等の洪水を想定したマイ・タイムライン作成講習会を開催し、港南地区で防災を担当している住民ら約30名が訓練に参加した。
- ・国土交通省酒田河川国道事務所の担当者より、「洪水から身を守る」というテーマで、住民の避難に対する基本姿勢や、最近の水害の被害状況等について講話を頂いた。市では、ハザードマップの見方や防災情報の取得方法に関する講義から、最終的には一人一人がマイ・タイムラインを作成に至るまでの一連の作業を行った。
- ・マイ・タイムラインの作成講習会は初の試みであり、住民の方も初体験であったことから戸惑いの声もあったが、事前にマイ・タイムラインを作成しておくことの重要性とその効果について実感することができた。

(実施機関:酒田市、国土交通省酒田河川国道事務所、港南コミュニティ振興会)



◆マイタイムライン
作成講習会の様子

R2.7.27 災害時における福祉用具等物資の供給等の協力に関する協定締結

- ・ 一般社団法人 日本福祉用具供給協会と災害時の福祉用具等物資の供給等の供給に関する協定を締結しました。
- ・ 災害時に高齢者や障害者等の要配慮者に対し、避難所へ生活必需品の供給を迅速に行うことによる、良好な生活環境の確保が重要と考えます。

＜品目＞・ベッド ・車いす ・スロープ ・歩行器 ・手すり

・杖 ・ポータブルトイレ ・医療関連器具 等

(実施機関: 鶴岡市)



▲R2.7.27 締結協定式



▲R2.7.27 締結協定式

R2.9.28 令和2年度 総合防災訓練

～ 災害対応にあたる職員の防災能力向上を図ります ～

- 酒田河川国道事務所では、職員の防災能力の向上を図ることを目的として「総合防災訓練」を実施しました。訓練では、山形県沖を震源とする地震と津波の発生を想定し、災害発生時における被災状況の迅速かつ的確な伝達及び情報共有などの災害対応訓練を実施しました。

【実施機関：酒田河川国道事務所】

【訓練日時】 令和2年9月28日(月)9:40発災

【訓練想定】 震度6強(山形県沖)津波想定あり

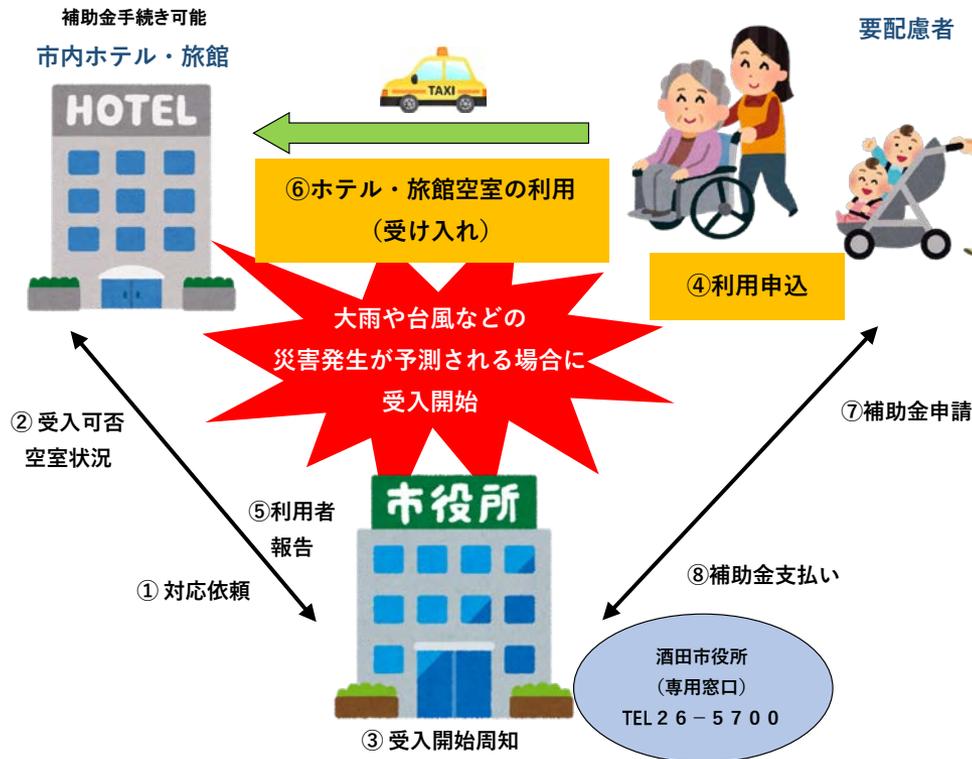
【主な訓練内容】

- 1) 災害対策支部設置訓練
- 2) 管理施設点検等訓練
- 3) 啓開・緊急応急訓練(図上)
- 4) 災対本部(整備局)とのテレビ会議
- 5) 被災自治体への映像情報配信訓練
- 6) 現地画像伝送訓練(ドローン映像等の伝送)
- 7) 災害協定団体・防災エキスパート要請訓練



R2.10.1 要配慮者のホテル及び旅館への 自主避難・早期避難支援制度の開始について

- 自然災害が頻発する中、高齢者等の逃げ遅れが大きな課題となっています。
 - 高齢者をはじめ要配慮者の早期の避難を促進するとともに、避難所への避難することへの不安を解消するため、要配慮者(高齢者等)の自主避難、早期避難について、ホテル・旅館の宿泊費と移動に要する経費(往路タクシー代など)の補助(2/3)を行うものです。
- 【実施機関:酒田市】



【対象】

酒田市内に在住し、
以下の要件に該当する方

- ① 高齢者(65歳以上)
- ② 障がい(児)者
- ③ 妊婦
- ④ 乳幼児
- ⑤ ①から④の介護者、
介助者及び保護者(1名のみ)

【対応ホテル及び旅館】

堅牢な建物で、洪水時の浸水深以上に一定数客室があり
市と協定を締結した宿泊施設

R2.10.9・11.13 地区防災研修会開催

- 遊佐町では、10月9日に蕨岡地区、11月13日に高瀬地区にて、令和元年度作成のハザードマップを使用した防災研修会を開催しました。
(参加者 地区役員等80名)

【内容】 ○令和元年度作成の洪水・土砂災害・津波ハザードマップ冊子「遊佐町
防災ガイドマップ」の活用方法について

○自主防災組織の役割と備えについて ○防災備蓄品確認 等

(実施機関:遊佐町、蕨岡まちづくり協会、高瀬まちづくりの会)



11.13稲川地区防災研修会



10.9開催の蕨岡地区防災研修会では、地区防災倉庫備蓄品も確認。

R2.10.15 町広報へ防災に関する特集記事を掲載

令和元年6月の山形県沖地震、令和2年7月の集中豪雨による避難勧告発令を踏まえ、町民の防災意識高揚を目的に町広報へ「避難」と「家庭内備蓄」をテーマに4ページにわたる特集記事を掲載しました。

特に今般の新型コロナウイルス対策を踏まえた避難所以外への避難や、洪水時に車を守ることを念頭に置いた早期の避難行動について町民から理解を深めていただきました。

(実施機関：三川町)

【特集】いざというときのための「避難」と「家庭内備蓄」

今般の新型コロナウイルス対策を踏まえ、避難所以外への避難や、洪水時に車を守ることを念頭に置いた早期の避難行動について町民から理解を深めていただきました。

災害時の情報収集はこちらから

- スマートフォン・携帯電話のエリアメール
- 町ホームページ
- テレビ・ラジオ局の避難
- スマートフォンの防災アプリ
- 緊急庁ホームページ

水害時はこちらもチェック

- 山形県民「防災情報システム」
- 近なるハワードマップ

いざというときのための「家庭内備蓄」
ローリングストックを実践しよう!

1 備える 普段の買い物で「ちよっと多めに」が備えに
2 使う 消費期限が切れたら、新しいものを補充する

ローリングストック (総量備蓄) の流れ

3 買い足す 消費期限が切れたら、新しいものを補充する

Point 消費期限が切れたら、新しいものを補充する

【特集】いざというときのための「避難」と「家庭内備蓄」

避難所以外の避難先の例

避難先の種類	注意の仕方
自宅 (近く・遠く含む)	近所が多い、避難所が不足する可能性がある。避難所として利用できる。
自動車 (車中泊)	避難所が不足する可能性がある。避難所として利用できる。避難所が不足する可能性がある。
親戚宅等	避難所が不足する可能性がある。避難所として利用できる。

【特集】いざというときのための「避難」と「家庭内備蓄」

本町の指定避難所一覧

- 三川町立第一小学校
- 三川町立第二小学校
- 三川町立第三小学校
- 三川町立第四小学校
- 三川町立第五小学校
- 三川町立第六小学校
- 三川町立第七小学校
- 三川町立第八小学校
- 三川町立第九小学校
- 三川町立第十小学校
- 三川町立第十一小学校
- 三川町立第十二小学校
- 三川町立第十三小学校
- 三川町立第十四小学校
- 三川町立第十五小学校
- 三川町立第十六小学校
- 三川町立第十七小学校
- 三川町立第十八小学校
- 三川町立第十九小学校
- 三川町立第二十小学校

R2.10.22 自主防災組織連絡協議会研修会の実施

- ・ 庄内町では、災害時に避難情報が発令された場合の自主防災組織の行動や避難行動要支援者避難支援プラン等の確認と防災意識の高揚を図るため研修会を実施しました。(参加者75名)

○内容 ハザードマップについて

具体的な避難行動について

自主防災組織の行動マニュアル及びコロナ禍の避難所運営マニュアルについて

庄内町避難行動要支援者避難支援プランについて 等 (実施機関:庄内町)



参加者:自主防災会代表

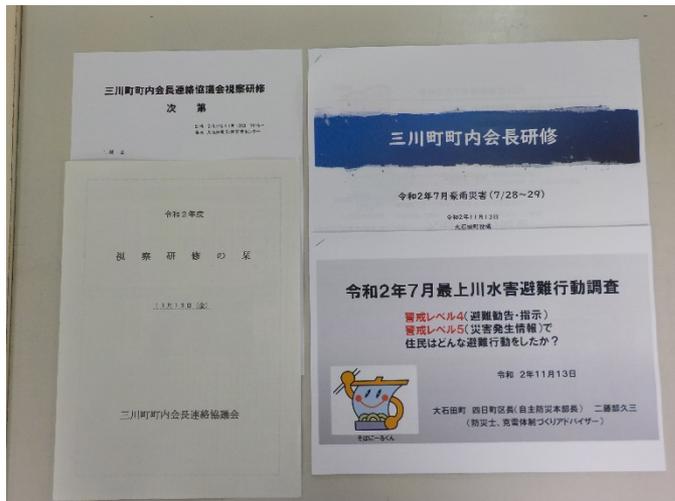


説明の様子

R2.11.13 町内会長による大石田町への視察

町内27町内会(自治会)の会長により構成される三川町町内会長連絡協議会では、令和2年7月豪雨で甚大な被害のあった大石田町を視察し、当時の対応等について伺いました。

同町の危機管理担当者からは町の対応状況についてお聞きしたほか、四日町区長からは自主防災会としての対応や、避難所運営、今回の災害を通して明らかとなった課題等をご講話いただき、今後の本町各町内会における防災体制のあり方を考える契機となりました。(実施機関:三川町)



いただいた資料など



区長からの講話